

潮流



第十三回韓国国際ウォーキング大会が十月二十七、二十八日に韓国江原道原州で開催され、世界各国から延べ約四万人が参加しました。鳥取県からは十九人の参加があり、私も五十歳の節目の記念に参加し、十九人中十四人が十キロコースに

NPO法人未来副理事長、鳥取県中部医師会副会長

松田 隆

参加しました。アップダウンを超えて子どもたちの参
この同じ小児科教授に習っ
ンのある初日のコースは実加とその笑顔とあいさつで
たというところで、私を勇子
際には一三・六キロあり、普した。特に、二日目には三
としてかわいがってください
段歩き慣れない私は、今ま人の女子小学生が「マツタ
り、いろいろとお話をして
でに経験のないひざの痛み リュウ」と笑顔で声をか
くださいました。韓国も少
に襲われ、「顔で笑って心 けてくれ、一緒に写真を撮
子化で、小児科医不足であ
で泣いて」の状態でした。り、小さな日韓交流をしま
ることなど、いろいろと勉
しかし、十九人の中で五番 した。強させていただき、大変い

韓国ウォーク

目の若さ(?)とスポーツ 私のもう一つの訪韓の目
い経験をしました。

ドクターの面目にかけて、 的は、昨年未来ウォークに NPO法人未来は、二〇
ひきつり笑いの中で二日間 来ていただいた韓国国際ウ 〇一年から日本海未来ウ
完歩しました。 オーク大会の前大会長 ークを主催してきました

この完歩を支えてくれた であり、さらに延世大学の が、〇四年から韓国国際ウ
のは、大会組織委員会の皆 副学長で医学部小児科の名 オーク大会に参加し、
さん、原州市議会議員の皆 誉教授の金先生との再会で 交流を始めました。世界各
さんの温かい、心のこもっ した。金教授は私が学生の 国から参加している大規模
たもてなし、そして、六千 時に日本に留学されて、そ な大会にもかかわらず、毎
韓国ウォークに参加した皆

回、開会式では日本の未来 さんは、原州を第二の故郷
ウォークの来賓としてあい と言うようになっていま
さつさせていたでいま す。鳥取県からの三組の夫
婦の参加の影響もあって
す。今回、各国から五百人
が参加した前夜祭に私たち
の席が用意されていたそ
うですが、交通渋滞のため、
間は合わなかったことが残
念でした。

一方、原州市議会議員の
皆さんは、議会中にもかか
わらず、また、他の組織委
員会の皆さんも別の会議を
オークでは、韓国の皆さん
からいただいた温かい、心
のこもったもてなしを笑顔
でとお返すると同時に、ま
た、韓国の小学生の笑顔に
会えるのを楽しみにしてい
ます。

ます。

(倉吉市)